

No.1 多様な話し合いの場と環境づくり

【担当課：まちづくり推進課・地域振興課・関係各課】

改善・推進の内容	改善スケジュール			改善・推進目標
	2 年度	3 年度	4 年度	
大崎市話し合う協働のまちづくり条例行動計画の推進	①～⑤	①～⑤	①～⑤	市民のまちづくりの参加意識を高めるため、話し合いの場づくりと環境づくりを推進する。
主な取組内容				
①多様な話し合いの場と環境づくり ②まちづくりへ参画するきっかけづくり ③役割の明確化と協働の実践 ④活動拠点施設の充実 ⑤まちづくりを担う人材の発掘と若者の育成				
令和 2 年度～令和 4 年度 of 取組内容				
<p>【令和 2 年度（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症により話し合いそのものが困難となったことを受け、基礎交付金を話し合いの場の形成に欠かせない感染症対策の使途に積極的に活用するよう、地域づくり委員会を対象とした交付金説明会を 3 度開催した。・各種ワークショップ支援を行い、チャレンジ事業交付金採択のきっかけづくりを行った。・オンラインで開催！2020 きょう Do！のまちづくり文化祭の開催。・協働のまちづくり研修会の開催。・オンライン高校生タウンミーティングの開催。・地域自治体制整備実証事業の実施及び検証委員会の開催。 <p>【令和 3 年度（見込み）】</p> <ul style="list-style-type: none">・協働のまちづくり研修会の開催。・新型コロナウイルス感染症対策を実施しての会議開催方法の周知。・地域自治組織活性化事業交付金の活用説明会の実施。・高校生タウンミーティングの開催。・各種ワークショップ支援。・地域自治体制整備実証事業の検証委員会の開催（中間報告書策定）。 <p>【令和 4 年度（計画）】</p> <ul style="list-style-type: none">・協働のまちづくり研修会の開催。・新型コロナウイルス感染症対策を実施しての会議開催方法の周知。・地域自治組織活性化事業交付金の活用説明会の実施。・高校生タウンミーティングの開催。・各種ワークショップ支援の実施。				
取組による効果	令和 2 年度	協働のまちづくりに関する市民満足度 32.3%（実績）		
	令和 3 年度	—		
	令和 4 年度	協働のまちづくりに関する市民満足度 37%（計画）		
	総計	—		
<p>【令和 2 年度総評】</p> <p>令和 2 年の目標値は満足度 35%であったが、結果は 32.3%となり、平成 30 年度実績の 33.4%よりも下回った。話し合いの継続のため、感染症対策の実施や、オンライン会議などの手法を試みたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、地域活動そのものが困難な状況に陥ったことが最大の要</p>				

因と思われる。今後は、コロナ禍においても地域が止まることのない話し合いの場の形成を、地域と共に考えていく。